

震度と揺れなどの状況(概要)/日頃の備え



※ 震度は、ある場所での地震による揺れの強さをあらわし、マグニチュードは地震そのものの大きさをあらわします。
(平成23年3月11日発生した東日本大震災の東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード(M)9・最大震度は7で、巨大津波が発生するなど大変な被害をもたらしました。)

0	<p>【震度0】 人は揺れを感じない。</p>	1	<p>【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	2	<p>【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	3	<p>【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
----------	-----------------------------	----------	--	----------	--	----------	---------------------------------------

4

【震度4】

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が倒れることがある。

5弱

【震度5弱】

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強

【震度5強】

- 物につかまらなると歩くことが難しい
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える
- 固定していない家具が倒れることがある
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

6弱

【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁やタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強

【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7

【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

■ 日頃の備え(屋内・屋外)

家屋の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう!!

◆ 玄関・廊下の注意点

- 玄関、廊下に物を置かず、避難口を確保する。

◆ リビングの注意点

- テレビ、ピアノを固定する。(吊り下げ式照明器具はチェーンで固定)
- 暖房器具は対震装置がついているものを使用する。

◆ 台所の注意点

- 食器棚の固定と食器の飛び出し防止装置をつける。
- ガラス戸には、飛散防止フィルムを貼る。
- 冷蔵庫や電子レンジは固定し、観音開きの扉には止め金具を付ける。

◆ 寝室の注意点

- 寝室に極力家具をおかない。● ドア付近に家具を置かない。
- 寝ている側に倒れてこないよう家具の位置を工夫する。
- 本棚はしっかりと固定し、中身が飛び出さないようにする。
- 重いものは下に入れる。

◆ 家の外の注意点

- 屋根、アンテナを補強する。● プロパンガスボンベを固定する。
- 植木鉢、プランターを落ちないようにする。
- ブロック塀を補強する。

地震が起きたら

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- あわてて外に飛び出さない。(落下物や車が危険)
- 揺れがおさまってから、あわてず火の始末
- あわてた行動、けがのもと

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら

- 運転中はハザードランプを点灯し緩やかに減速
- 近づくな、門や塀、自動販売機やビルのそば
- 川沿いや海岸でぐらっときたら高台へ